



オンライン研修会のご案内

研修内容(詳細は裏面をご覧ください)

2022年9月18日(日) 13:30~16:30

コロナ禍、異常気象や紛争の重なる不透明な今を、
家族としてどのように生きていくか？

児童精神科医 渡辺 久子 先生

- 問い合わせ先 NPO法人 日本家族カウンセリング協会 研修担当
TEL:03-3316-1955 E-Mail:jfca-kensyu@j-f-c-a.org
- 参加費 協会員:5,500円(税込) ※本協会の会員の方です
一般:6,600円(税込)
- 申込締切日 9月14日(水)
- 申込方法 参加費のお支払をもって申込みとします

決済システム「MiiT+(ミータス)」を利用して、研修会参加費のお支払をお願いします。詳細は、以下、協会ホームページをご参照ください。

「MiiT+(ミータス)アカウントの作成方法」と「研修会申込み方法」

参加費受領確認後、研修の3日前までに
ミーティングID(Zoom)をメールでお知らせします。
当日お繋ぎください。

※締切日以降の申込は、事務局までお問い合わせください。
※自己都合によるキャンセルの返金はできません。



MiiT+(ミータス)への
ログインはこちら

NPO法人 日本家族カウンセリング協会
東京都杉並区梅里 2-40-16 ビラージュ白井 7F
TEL) 03-3316-1955 FAX) 03-3316-1956 URL) <https://www.j-f-c-a.org>

■ 9月18日(日) 13:30～16:30:講義・ワーク(途中、休憩が入ります)

コロナ禍、異常気象や紛争の重なる不透明な今を、 家族としてどのように生きていくか？

渡辺 久子(わたなべ ひさこ)先生

コロナ禍に加え世界各地で異常気象による災害や紛争が増加し、予期せぬ災難に市民が巻き込まれている。この不透明な時代に、私たちは人として、家族として、どのように生きたらよいのだろうか？本講では、心身症、ひきこもり、いじめや被虐待に苦しみ、家族や集団の歪んだ関係を生き延びる子どもらから学び、大人が自分たちの関係性の幼児性に気づき、互いに謙虚に心を開き対話をもつことの大切さを考えたい。

《プロフィール》

児童精神科医。

慶応義塾大学医学部卒業後小児科学、精神医学、神経内科学、精神分析学、を国内外で研修。

家族精神医学をメニンガー・クリニックのA. マンデルバウム博士、タビストック・クリニックのJ.ビングホール博士に師事。

乳幼児精神保健を英国で学んだ後、慶応病院小児科常勤講師として研修医に児童精神医学の基礎を指導。

いじめ、引きこもり、摂食障害、発達障害、虐待、DV等、高度経済成長後の日本で多発する子どものこころの問題に取り組む。

世界乳幼児精神保健学会(WAIMH)の理事として、日本乳幼児精神保健学会を設立し、アジア初のWAIMH世界大会を横浜で開催。

東日本大震災以後今日まで、東北の子どもらのメンタルケアにかかわり、日本人にあった「甘えなおし療法」を実践。

WAIMH理事としてバングラデッシュのロヒンギヤ難民キャンプや、ウクライナの臨床家を支援している。

《主著》

「こころ育ての子育て」白石書店 2000

「だきしめてあげて」太陽出版 2005

「新訂増補母子臨床と世代間伝達」金剛出版 2016

共著「郡山物語」福村出版 2014

本研修会は(一社)家族心理士・家族相談士資格認定機構が定める継続研修実績^{*}の対象となりますので有資格者の方全員に案内しております。

^{*}継続研修実績評価細則第2条(2) b.ワークショップ・研修会(受講者:3時間につき1P)